

令和4年度 学校推薦型選抜I (家政) 出題意図【問題1】

出題意図

問題1の出題意図は、衣服をその機能、材料、そして社会生活との関わりといった観点から考察することができるかを問うものである。

解答例

(1)

- ・気候に適応し、清潔を保持し、外部刺激から身を守る機能 (26字)
- ・職業や所属する集団を表示し、社会生活へ適応する機能 (25字)
- ・自らの好みやアイデンティティ、価値観などを他者に示す機能 (28字) など

(2)

- ・ラン (伝線) が生じやすい
- ・洗濯などにより型崩れを起こしやすい など

(3)

- 以下の観点から評価する。
- ①対象を具体的に挙げているか (制服、婚礼衣装、喪服、職場でのハイヒールなど)。
 - ②女性にとって、選択肢がどのように拡大したのかが具体的に説明されているか。
 - ③ジェンダー平等の視点からもたらされたファッションの変化について論述されているか。

解答例

ジェンダー平等の実現や多様性への配慮などを目的として、性差を感じさせない制服を採用する学校が増加しており、スカートやスラックス、リボンとネクタイなどを性別にかかわらず選択できるように改めるなどの変化がもたらされている。また近年、女性のみハイヒールの着用を義務づけるなどの、不合理な服装規定を廃止する企業が徐々に増加しており、性別にかかわらず健康を損なわないような靴で勤務することができるようになるなどの変化も現れている。

令和4年度 学校推薦型選抜 I (家政) 出題意図【問題2】

出題意図

問題2の出題意図は、(1) 住まいの基本的な働きの理解、(2) 日本の伝統的な住文化への理解、(3) 自分たちの住んでいる地域の現状と課題に対する把握を通してこれからの住生活をより良くしていくための自らの考えを論理的に述べることができるかを問うものである。

解答例

(1)

住まいの基本的な働きとしては、下記があげられる。

- ・生命や財産を守る。
- ・子供（人間）の成長を見守る。
- ・休養とくつろぎを与える。
- ・勉強や仕事などの作業の場。
- ・趣味や余暇の場。
- ・友人や親せきなど人と人との交流の場。
- ・介護や看護の場 など

(2)

人々は昔から、地域の気候風土や生活の文化に合った住まいをつくり出してきた。

日本の伝統的な住まいの特徴は、日本の気候に合わせた工夫（温度・湿度がともに高い夏を過ごしやすくする）、風土に合わせた工夫（地震や台風などの自然災害から生活を守る）、春夏秋冬の四季の変化を感じ楽しむための工夫、等が行われてきたことがあげられる。

その他の特徴

- ・履物を脱いで生活する生活様式
- ・障子や襖などの引き違い戸が利用され、開ける部分の面積を調節することで取り入れる風の量を調節することができる（蒸し暑い夏を涼しく、寒さの厳しい冬を暖かく過ごすための工夫）。
- ・畳には保温性と吸湿性があるため、冬が暖かく、夏はさらりとした感触が心地よい。
- ・高温多湿で日差しが強い夏に対応するための軒や庇

解答では、一つの特徴に重点を当てて論じていても構わない。

(3)

自分たちの住んでいる地域に対して、

- ①興味・関心を持っているか。
- ②健康・快適・安全・持続可能な社会の構築・伝統的な住文化等の視点から、良いところと悪いところを捉えているか。
- ③これからの住生活がより良くなるための考えが述べられているか。